



笑顔がもっと広がるように

今回みみタロウは、介護士のマカウラド ヒラリオ ムラタさんと
アントニーナさんご夫妻（彦根市在住）にお話を伺いました。



ヒラリオさん：

私はフィリピン
のルソン島出身
の日系二世です。
会社で仕事をし
ながら大学で勉
強し、修了し
た頃、ちょうど

日本企業からの募集があり、1992年、兄弟やいとこ
19人と共に来日しました。鳥取県で2年間働き、
一旦帰国して、4年後再来日してからは彦根に住んで
います。フィリピンに残してきた妻と5人の子もた
ちは、それぞれ成長に応じて呼び寄せ、今は家族全員
日本で暮らしています。

これまでボランティアの日本語教室に通いながら、
ドライクリーニングの集配やクレーンの運転、工場
での作業など様々な職を経験しました。そして年も
取り、将来のことを考え始めていた頃、介護の仕事
を紹介され、大津の病院で働くようになって7年
が経ちます。仕事はお年寄りの食事や入浴の介助な
ど、お世話全般です。この仕事をする上で介護の専門
知識は必須で、就職後すぐに介護講座に通って資格
を取りました。介護の仕事は重労働と言われますが、
患者さんの抱え方、ベッドの調整など適切な
テクニックを用いれば、腰などを痛めることはありません。
私はこの仕事が好きで、これまでで一番楽
しく、とても大切にしています。何よりお年寄り
と冗談を交えながら話をするのが好きで、
「ニューヨーク（入浴）に行きますよ。パスポート、
持ちましたか？」と声をかけると、お年寄りは「ほお」
とか「恥ずかしい」などと言いながら笑顔いっぱい
になります。ストレスも、楽しく仕事するとたまりま
せんし、何かあっても落ち込んだりしないように気持
ちをコントロールしています。職場には12人の
フィリピン人介護士がおり、私は一番の先輩です。も
うすぐ60歳になりますが、定年までは今の仕事を楽
しみたいです。

もう一つ、私が大切にしている事は、フィリピン
人コミュニティの活動です。県内にはカトリック
教会を中心に、長浜、彦根、草津など各地域に
フィリピン人コミュニティがあり、それらを「滋賀
カトリックフィリピン人コミュニティ」が束ねていま
す。そして更にこの団体や関西圏の多くのフィリピン
関連団体が「NPOフィリピン人コミュニティ協議会
（PCCC）」を構成し、大使館とも連携して、関西在住
のフィリピン人がつながるシステムがあります。

私は彦根のフィリピン人コミュニティのコーディネ
ーターを13年間務め、今はアドバイザー職です。
この間、週末にはコミュニティを回って、困っている
人がいれば相談に乗ったり、カラオケ大会や
パーティーなど楽しいイベントを行って同国人同士
の絆を深めてきました。皆が喜んでくれるのが嬉し
くて、長く携わらせていただいています。その他2
年前からは、「NPOフィリピン人コミュニティ協
議会」の副会長も務めています。この団体では、
団体間の連携を図りながら、暮らしの情報やサポ
ートを提供したり、在日フィリピン人への理解を深めて
いただく事業を行っています。是非、フィリピン人
が日本社会の様々な分野で頑張っている姿を多くの
人に知っていただきたいですし、今はコロナ禍で
イベントもできませんが、また楽しいことも沢山したい
ですね。そして、こうした活動を通して、私たち
外国人が、日本の法律を守って真面目に働き、日本
の良き市民になることを願っています。これまで色々
な仕事に就き、多くの出会いがあり、全く想像もし
なかった楽しい人生になりました。これからも忙し
くなりそうですが、もっと笑顔の輪を広げていきたい
です。

アントニーナさん：長い間、家族が離れる時期も
ありましたが、今は子どもや孫たちに囲まれ、安心し
て暮らしています。外国での生活は思うようにいかな
いことも多いと思います。でも精一杯頑張れば、きつ
と良いことがありますよ！